



鹿沼市

伝統と粋が華やかに町を彩る

Kanuma Autumn Festival

鹿沼秋まつり

「ユネスコ無形文化遺産」登録申請中
国指定重要無形民俗文化財

勇壮に街を練り歩く、華麗な彫刻屋台 Parade floats with splendid sculptures

「動く陽明門」とも言われる鹿沼の彫刻屋台は、江戸時代の伝統と粋を受け継いだ日光東照宮修営の流れを汲む名工たちが屋台全面に配した、絢爛豪華な彫刻が魅力です。20台以上の彫刻屋台が町中を練り歩く鹿沼秋まつりの始まりは、今から400年以上前の慶長13年3月のこと。戦国後、一時荒廃していた鹿沼宿は、今宮

神社の再建を機に復興を開始。この年は大干ばつであったため、氏子や近郷の人々が神社に集まり雨乞いの祭りを続けたところ、激しい雷雨が。そして雨のあがった6月19日(旧暦)を宵祭り、翌20日を例祭としたと伝承されています。

現在は10月の第2土・日曜に開催。見事な彫刻屋台が披露する「ぶっつけ」と

呼ばれる勇壮なお囃子の競演は、まさに圧巻の時代絵巻。提灯に灯りが入り、幻想的なムードにつつまれた町に響き渡るお囃子の音色と若衆たちの熱気。華麗さと激しさをもつ、この町ならではの秋の風物詩は、庶民階級の素晴らしさを今に伝え、古習を伝承した結晶のような煌きをもつ祭りといえるでしょう。

TOUR INFORMATION

鹿沼秋まつり 開催日: 平成28年10月8日(土)、9日(日) オーダープラン **made-to-order** お問合せください。

詳しくはこちらへ [えにしトラベル](https://enishi-travel.jp) <https://enishi-travel.jp>

<http://www.buttsuke.com>